



平成30年3月12日



広島大学

SANFRECCCE
HIROSHIMA FC

第4弾

3月18日（日）エディオンスタジアム広島で啓発活動

サンフレッチェ広島とのコラボレーション
～てんかんへの正しい理解の普及を～

広島大学病院（てんかんセンター）は、3月18日（日）エディオンスタジアム広島で、てんかん疾患啓発活動の第4弾を行います。

世界的なてんかん疾患啓発活動である「パープルデー（Purple Day）」は、毎年3月26日です。パープルデーとは、紫色の物を身に着けて、てんかんを正しく知ってもらおうという運動です。

広島大学病院（てんかんセンター）は2016年9月から、紫をチームカラーとするサンフレッチェ広島とコラボレーションをして、てんかん疾患の啓発活動に取り組んでいます。

広島大学病院（2015年度広島県てんかん診療拠点機関に指定）がサンフレッチェ広島とコラボレーションすることで、一人でも多くのサポーターやそのご家族に、てんかんに対する正しい理解を持っていただき、てんかん患者さんが過ごしやすい社会の実現をめざします。



つきましては、下記のとおり、3月18日（日）、サンフレッチェ広島対ジュビロ磐田戦において、12時からてんかん疾患啓発活動を行います。エディオンスタジアム前広場に啓発ブースを設置し、缶バッジの配布や寄せ書き、サンフレ選手による啓発メッセージを大型ビジョンで放映します。

記

日時：2018年3月18日（日）12時から

場所：エディオンスタジアム広島 お祭り広場

啓発活動：缶バッチの配布、啓発資料の配布、大型ビジョンでのビデオメッセージ
放映など

世界に広がる「てんかん」啓発キャンペーン

3.26 PURPLE DAY



パープルデーとは？

毎年3月26日にてんかんへの関心、理解を高めるために、紫色の象を身につけ、世界中で活動が行われています。
パープルデーは2008年、カナダの海城3歳だったキャンディー・マーガソンによって始められました。ラベンダーのパープル（紫）がてんかんの国際的イメージであったことからパープルデーと名付けられました。キャンディーさん自身がてんかんに苦しんでおり、病気についての誤解を解くために苦しみ、世界中のてんかんを持つ人が「自分たちは決して一人ではないんだ」と知ってもらうとともに、一般の人たちにもてんかんに関する正しい知識を広めることを目的としています。



広島大学病院てんかんセンター × **SANFRECCCE**
HIROSHIMA FC

©2018 SFC



(啓発活動第2弾の様子・去年3月)

【本件に関するお問い合わせ】

広島大学病院	てんかんセンター事務局	島崎 亜哉
Tel 082-257-1719 fax 082-257-5229		

【本件報道に関するお問い合わせ】

広島大学病院	
特命広報・調査担当役	菅川（すげかわ）幹人
Tel 082-257-5418 fax 082-257-5087	